

にぎわいが生まれる
川西の実現

施策別 行政サービス成果表

分野別目標	02 にぎわいが生まれる川西の実現	市民とともにめざす未来像	・ 市民が歴史・文化財に興味を持ち親しんでいる ・ 市内での交流人口が増加し、にぎわいと愛着が生まれている
施策	04 歴史・観光		
小施策	08 歴史・観光		

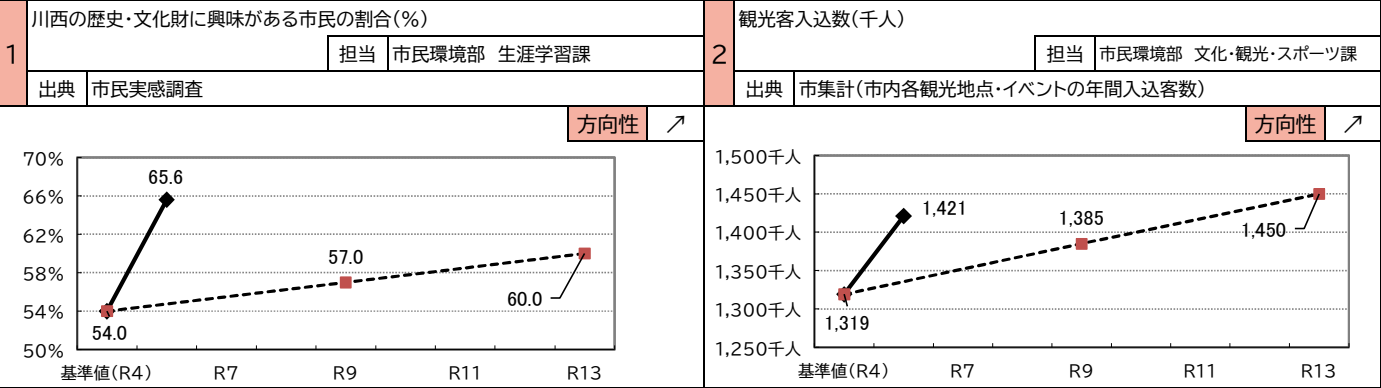
● 「市民とともにめざす未来像」及び「評価指標」を踏まえた分析

指標「川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合」におけるR6年度実績値は基準値より11.6ポイント上昇している。要因として、例年の事業に加え、文化財資料館で市制70周年・開館30周年記念の特別展を開催したこと、市広報誌での郷土館旧平安邸耐震補強改修等工事の特集などにより、施設を知ってもらう機会が増えたことが考えられる。なお、興味がある市民の割合について世代別に分析したところ、40代以上の割合が多くを占めている。

指標「観光客入込数」におけるR6年度実績値は、市内各地で70周年事業の実施や黒川里山センター開設などの影響により、基準値と比較して上昇しているが、R7年度以降は、能勢妙見山のケーブルの廃止や猪名川花火大会の隔年開催などが要因となり、減少していくことが考えられる。

市民とともにめざす未来像の実現に向けては、幅広い世代に文化財への関心をもってもらうために、効果的な情報発信方法を強化する。また、今後は、黒川地域にオープンした黒川里山センター新棟などの施設を中心に里山の魅力を発信するほか、引き続き、魅力的なイベントを実施していくことでふるさと意識の醸成と交流人口の拡大を図る。

● 評価指標（目標値及び実績値の推移） ※グラフ内の点線(←-----→):目標値、実線(←————→):実績値



● 事業・コスト一覧

事業名	R6年度				担当課
	事業費	職員人件費	減価償却費	合計	
国内交流事業	315千円	0千円	0千円	315千円	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
観光推進事業	156,151千円	18,503千円	10,294千円	184,948千円	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
イベント支援事業	58,461千円	16,832千円	0千円	75,293千円	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
知明湖キャンプ場管理運営事業	21,525千円	0千円	1,395千円	22,920千円	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
文化財事業	167,928千円	46,433千円	15,623千円	229,984千円	市民環境部 生涯学習課

コスト合計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	合計
	513,460千円								513,460千円

施策別 行政サービス成果表

分野別目標	02 にぎわいが生まれる川西の実現	市民とともにめざす未来像	・ 起業の支援を受けることができる環境が身近にあり、魅力的な新規事業者の事業所が多数ある ・ 地域の既存産業に活気があり、買い物等生活の利便性の向上により、身近な地域で豊かな暮らしが実現できている
施策	05 地域産業		
小施策	09 商工振興		

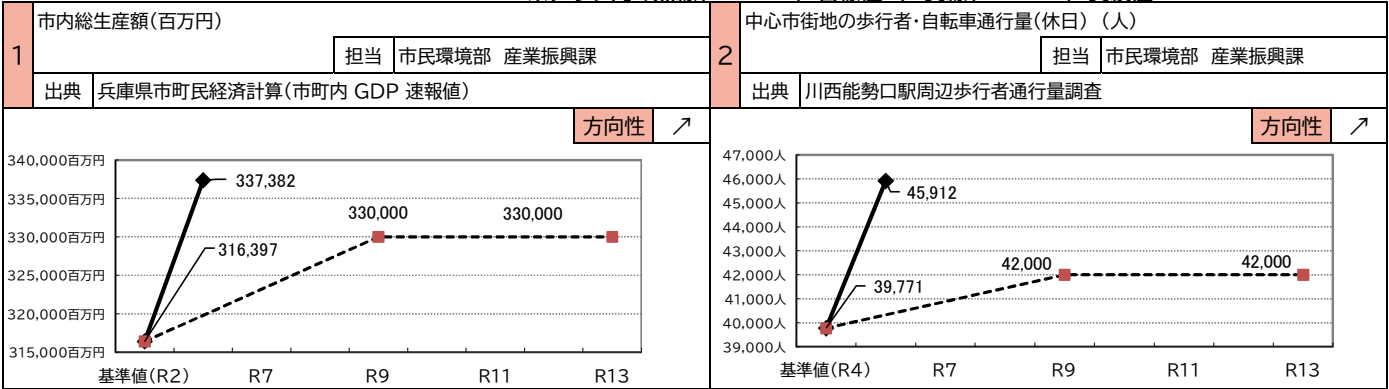
● 「市民とともにめざす未来像」及び「評価指標」を踏まえた分析

指標「市内総生産額」及び指標「中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日)」は目標値を上回った。商工振興では、卸売・小売業やサービス業などの第3次産業が増加しており、これまで実施してきた国の交付金を活用した経済対策や女性起業塾等による起業支援施策を体系的に実施することにより、地域産業に効果的に寄与したことも一因として考えられる。また、中心市街地活性化では、歩行者・自転車通行量(休日)の数値が増加しており、ペDESTリアンデッキ等の公共空間を活用したにぎわいづくりやまちの学び舎かわにしといったプレイヤー育成事業の実施のほか、アステ川西のびいぶう広場のリニューアル整備による効果により、まちのにぎわいの向上及び地域活性化につながっていると考えられる。

今後は、ビジネスパーソンがともに学び、交流するビジネス交流スクールを開校し、ビジネススキルの共有や共同創造の環境が醸成されることで、地域産業のさらなる活性化を図る。また、当該事業によりビジネスコミュニティの形成及び活性化を図りながら、起業支援施策や中小企業振興施策と連携させることでにぎわいが生まれるまち川西の実現を図る。

● 評価指標(目標値及び実績値の推移)

※グラフ内の点線(-----):目標値、実線(————):実績値



● 事業・コスト一覧

事業名	R6年度				担当課
	事業費	職員人件費	減価償却費	合計	
商工振興事業	19,837千円	28,037千円	0千円	47,874千円	市民環境部 産業振興課
中小企業支援事業	3,280千円	8,416千円	0千円	11,696千円	市民環境部 産業振興課
中心市街地活性化推進事業	14,470千円	14,469千円	149千円	29,088千円	市民環境部 産業振興課

コスト合計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	合計
	88,658千円								88,658千円

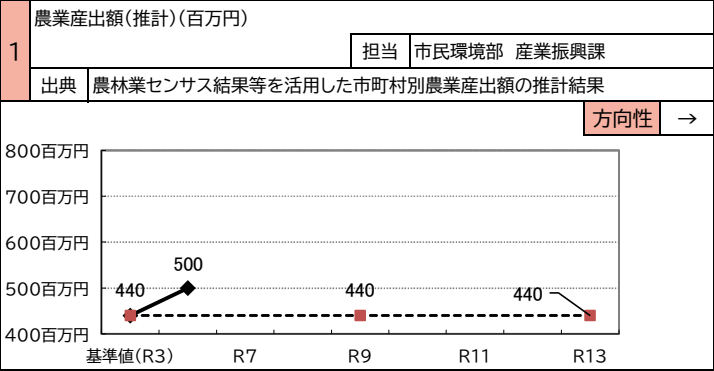
施策別 行政サービス成果表

分野別目標	02 にぎわいが生まれる川西の実現	市民とともにめざす未来像	・ 市内の特産品が広く知られ、持続的に生産をされている ・ 市民が川西市産の農産物を積極的に食べている
施策	05 地域産業		
小施策	10 農業		

● 「市民とともにめざす未来像」及び「評価指標」を踏まえた分析

指標「農業産出額(推計)」におけるR6年度の数値は、コロナ禍の影響を受けた基準値と比較して向上しており、その主要因として、近年の物価高騰による野菜や果実などにおける単価上昇が考えられる一方で、早生桃やいちじくの即売会の開催や、特設ブースでの北摂栗の販売により特産物の認知を促進したことがあげられる。また、持続可能な農業振興をめざし、農業用施設の修繕や有害鳥獣による被害防止対策に取り組んだことも寄与したと考えられる。今後も特産物の魅力を伝える即売会の実施のほか、のぼり旗の設置等を通じてPR活動を強化する。また、地元生産者の要望に応じて老朽化した農業用施設の修繕や補助制度による支援、有害鳥獣による被害防止対策を継続して行うことで、市民とともにめざす未来像の実現に向けて取り組む。

● 評価指標(目標値及び実績値の推移) ※グラフ内の点線(←-----→):目標値、実線(←————→):実績値



● 事業・コスト一覧

事業名	R6年度				担当課
	事業費	職員人件費	減価償却費	合計	
農業振興事業	38,926千円	29,481千円	41,264千円	109,671千円	市民環境部 産業振興課

コスト合計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	合計
	109,671千円								109,671千円

施策別 行政サービス成果表

分野別目標	02 にぎわいが生まれる川西の実現	市民とともにめざす未来像	希望する就労や働き方に関する情報が手軽に得られ、地域で働くことができる
施策	05 地域産業		
小施策	11 雇用就労・働く場の創出		

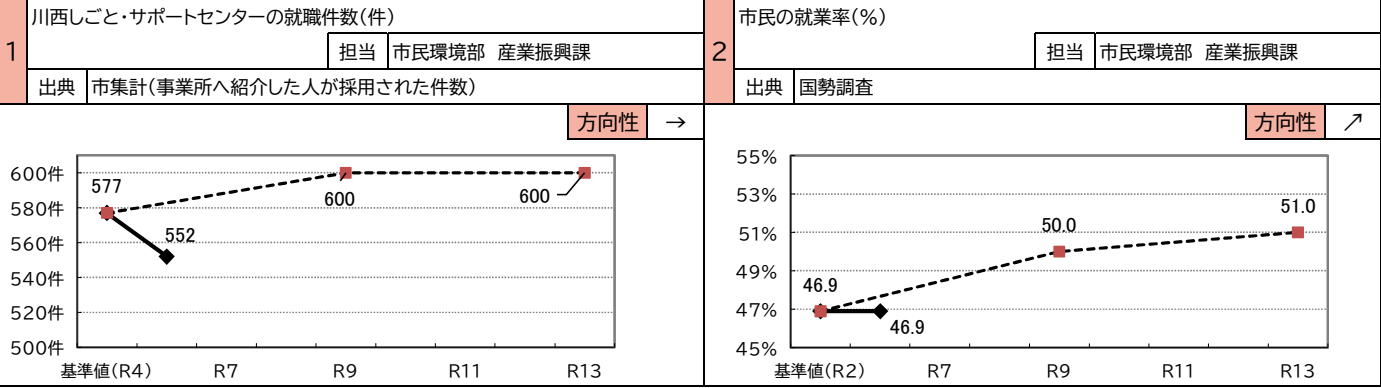
● 「市民とともにめざす未来像」及び「評価指標」を踏まえた分析

指標「川西しごと・サポートセンターの就職件数」が基準値より下回った(評価指標2「市民の就業率」については、国勢調査実施年に確定するため、令和2年度の数値を記載)。コロナ禍を経て、オンラインサービスの充実等、求職活動環境の変化により、これまでの対面での相談や情報提供等の利用者数が減ることで、就職件数も減ってきていると考えられる。このような状況において、同センターでは、来所者数は年々減少傾向にあるが、来所者数に対する就職件数の割合は微増傾向にあり、若年者、子育て世代、障がい者など、就職を困難とする者への就労支援を行う各機関との連携を強化し、若者キャリアサポート川西の相談来所件数や就職件数を伸ばしていく取組を行うことで、就職件数の増加に向けて取り組んでいるところである。

今後、オンラインサービスや就職アプリなどによって個人レベルで情報が入手しやすくなる環境が整う一方で、就労困難者への対応が重要となるため、さらにハローワークなど関係機関との連携を密にし手厚い支援を行うことで、就職件数の増加を図る。

また、若年者などの就職については、個々にあった働き方の支援や就労における機会提供など、伴走・課題解決型の支援の充実を図る。

● 評価指標(目標値及び実績値の推移) ※グラフ内の点線(←-----→):目標値、実線(◆-----◆):実績値



● 事業・コスト一覧

事業名	R6年度				担当課
	事業費	職員人件費	減価償却費	合計	
就労支援事業	5,637千円	2,570千円	0千円	8,207千円	市民環境部 産業振興課
労働者支援事業	7,162千円	16,832千円	0千円	23,994千円	市民環境部 産業振興課

コスト合計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	合計
	32,201千円								32,201千円

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	観光推進事業	所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	決算書頁	256
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	歴史・観光	小施策	歴史・観光		
市民とともに めざす未来像	・市民が歴史・文化財に興味を持ち親しんでいる ・市内での交流人口が増加し、にぎわいと愛着が生まれている				

2. 事業の目的

本市の歴史や芸術・文化の発信により観光を振興する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R6年度	R5年度	比較	財源	R6年度	R5年度	比較
総事業費	184,948	207,966	△ 23,018	一般財源	56,563	34,976	21,587
事業費	156,151	191,428	△ 35,277	国県支出金	0	0	0
内 人 件 費	16,832	13,236	3,596	地方債	117,000	160,800	△ 43,800
正・再任用職員	16,832	13,236	3,596	特定財源(その他)	11,385	12,190	△ 805
任期付・会計年度任用職員	1,671	1,463	208	特定財源(その他) R6年度の主な種類	寄附金	繰入金	
減価償却費	10,294	1,839	8,455	使用料及び手数料	諸収入		
(参考)正・再任用職員数(人)	2	2	0				

4. 事業目的達成のための手段と成果

＜細事業1＞		観光推進事業		細事業事業費(千円)		6,739	
R6年度の取組と成果							
主な取組		① 川西市観光協会への運営支援(補助金)…450千円 ② 加盟協会負担金及び行事開催負担金にかかる支援(ひょうご北摂里山ライド含む)…1,368千円 ③ かわにしふるさと大使の任命 ④ おもろ能事業費…4,262千円					
有効性評価指標	指標名		単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)	
	かわにしふるさと大使の活動実績		件	0	5	5	
	川西スマイルナビゲーターの活動実績		件	15	26	30	
①川西市観光協会への運営支援 ・観光の推進を図るため、川西市観光協会へ補助金を交付した。会員数:81名(R6年6月24日時点)。 ・R6年度に、川西観光プリンセスから川西スマイルナビゲーターに名称変更し、市のイメージアップ等を図った。 【活動内容】川西スマイルナビゲーターの派遣等:計26件(桃の即売会、ひょうご北摂魅力いっぱいフェアなど) ②加盟協会負担金等 ・加盟協会等:計5件(「兵庫県阪神北地域ツーリズム振興協議会」・「北摂里山博物館運営協議会」・「2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合」)外2件)などへの参画を通じて、地域資源の活用や観光振興を図った。 ・行事開催負担金:「ひょうご北摂里山ライドの開催」(R6年10月27日) ③かわにしふるさと大使の任命 ・市制70周年の節目の年となるため、従来「源氏のふるさと大使」として市出身の著名人にご尽力いただいた仕組みを再構築し、「かわにしふるさと大使」としてスタートさせた。 ・同大使は、市の歴史、芸術、文化、産業等を広く宣伝するとともに、市に関する情報等の交換を行い、市のイメージアップ及び観光の振興を図るため、任命。(R6年度:4名) 【同大使の氏名・活動件数】 全5件(奈良くるみ 1件・小田井涼平 2件・植村花菜 1件・藤原功次郎 1件) ※敬称略 ※就任順かつ数字は活動件数 ④川西おもろ能 ・川西おもろ能実行委員会が市制70周年を記念し、R6年10月5日(土)に開催。今回で29回目を迎える。 世界的彫刻家である流政之(ながれ まさゆき)さんが制作した石舞台(けやき坂中央公園内)にある「おもろ座」と名づけられた石舞台で、重要無形文化財(能楽総合指定)保持者である金春穂高(こんぱる ほだか)さんが出演し、幽玄かつ情緒に富む新能を演じた。							





<細事業2>		黒川まちづくり支援事業	細事業事業費(千円)	149,412
R6年度の取組と成果				
主な取組	① 黒川里山センター南北棟耐震改修工事 工事監理委託料 …9,750千円 黒川里山センター南北棟耐震改修工事 建設工事費 …118,580千円 ② 黒川里山センター管理・運営(指定管理者への管理委託料) …18,500千円			
有効性評価指標	指標名	単位	R5実績	R6実績
	黒川里山センター 施設利用者延べ人数(イベント参加者含む)	人	8,704	7,915
	黒川里山センター 内貸室利用延べ人数	人	2,228	2,529
	①黒川里山センター南北棟耐震改修工事 工事監理委託料…9,750,000円 黒川里山センター南北棟耐震改修工事 建設工事費…118,580,000円 黒川里山センター南北棟(旧黒川小学校)の耐震改修工事を行った。 ②黒川里山センター管理・運営 指定管理者:NPO法人コクレオの森 R6年度指定管理料:18,500,000円 施設利用者延べ人数:7,915人(イベント参加者含む) 内貸室利用延べ人数:2,529人 休館日:月曜日、火曜日及び祝日 開館時間:9時から17時 【委託事業】黒川里山塾 計15回 里山あそびクラブ 計4回 みんな食堂:計2回 その他(里山アトリエ・里山カフェ)			
	指標名	R5実績(人)	R6実績(人)	
	黒川里山センター 施設利用者延べ人数(イベント参加者含む)	8,704	7,915	
	黒川里山センター 内貸室利用延べ人数	2,228	2,529	
	③黒川里山センター南北棟(旧黒川小学校)耐震改修工事クラウドファンディング ・耐震改修に係る費用の一部をR5年11月14日からR7年1月30日まで募集した。 合計 193人 11,263,043円 寄付者を対象に作成した銘板人数 143人			



5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価	効率性に係る自己評価						
<有効性評価指標> <table border="1"> <tr> <td>R5年度より向上した</td><td>○</td></tr> <tr> <td>R5年度の水準に留まった</td><td></td></tr> <tr> <td>R5年度の水準を下回った</td><td></td></tr> </table> 指標の結果をふまえた自己評価 ・川西市観光協会が川西スマイルナビゲーター4名を選定し、年間を通じて市や観光協会などが行う各種イベントへ参加し、市の魅力のPRなどを行った。 ・R6年4月に川西市黒川里山センター新棟がオープンし、黒川の豊かな自然や景観を生かした里山保全、自然体験などを行う交流拠点、黒川地区の防災拠点などの機能も併せ持つ施設として運営を開始した。	R5年度より向上した	○	R5年度の水準に留まった		R5年度の水準を下回った		・R5年度に黒川里山センター新棟の整備工事とR6年度に南北棟耐震改修工事が完了し、一体的に運営する準備が整った。 ・南北棟耐震改修に係る費用の一部をガバメントクラウドファンディングで募集できた。
R5年度より向上した	○						
R5年度の水準に留まった							
R5年度の水準を下回った							
有効性評価指標の向上を含めた事業の課題 【かわにしふるさと大使のあり方について】 ・R6年度に4名の大使を任命したが、今後大使と市がどのように連携しながら、相互に応援し合える関係を構築するなどの十分な検討を行えていないことが課題である。 【川西市観光協会のあり方について】 ・R5年度から市が進めている団体事務局の見直しの対象であるが、事務局機能の移管が完了していないことが課題である。 【黒川里山センターの貸室利用者数について】 ・黒川里山センターにおいて、貸室利用者数が一定増加しているものの施設全体としては十分な活用ができていないことが課題である。	R7年度以降に向けた取組みの方向性 【かわにしふるさと大使のあり方について】 ・大使による市事業への参画だけでなく、様々な機会や方法を活用して、市と大使が相互に応援し合い、そこから新たに頑張ろうとする人や活動に繋がる方策を検討する。 【川西市観光協会のあり方について】 ・川西市観光協会事務局をR7年度末で市から移管する方向で調整し、円滑に事務を引き継ぐ。 【黒川里山センターの活用方法について】 ・南北棟の耐震改修が完了し、黒川を中心としたまちづくり方針に基づきイベントを効果的に開催するなどソフト面の事業を行うことで一体的な運用を進める。次の指定管理者を選定する時に施設のあり方を検討する。						

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	イベント支援事業	所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	決算書頁	256
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	歴史・観光	小施策	歴史・観光		
市民とともに めざす未来像	・市民が歴史・文化財に興味を持ち親しんでいる ・市内での交流人口が増加し、にぎわいと愛着が生まれている				

2. 事業の目的

イベントを開催し、「清和源氏発祥の地川西」など、本市について市内外にPRする。

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内 訳	総事業費	75,293	61,804	13,489	一般財源		75,293	61,804	13,489
	事業費	58,461	45,324	13,137	国県支出金				
	人件費	16,832	16,480	352	地方債				
	正・再任用職員 任期付・会計年度任用職員				特定財源(その他)				
	減価償却費				特定財源(その他) R6年度の主な種類				
(参考)正・再任用職員数(人)		2	2						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	イベント支援事業	細事業事業費(千円)	58,461
--------	----------	------------	--------

R6年度の取組と成果

主 な 取 組	① 清和源氏まつり実行委員会及び川西市観光協会共催の清和源氏まつり開催支援(補助金)・・・10,000千円 ② 川西市、池田市、猪名川花火大会開催委員会主催の猪名川花火大会開催支援(開催負担金)・・・48,397千円				
有効性 評価 指標	指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)
	観覧客数(清和源氏まつり)	人	18,000	21,000	24,000
	観覧客数(猪名川花火大会)※隔年開催のため、R9目標はR8の観客見込数を記載	人	144,000	162,000	162,000

【清和源氏まつり】

- 「清和源氏発祥の地 川西」を市内外へ更にPRするため、4月14日に第60回清和源氏まつりを開催。
- ・開催場所を多田地域から川西能勢口駅周辺の中心市街地に移して開催した3回目。
- ・懐古行列を、アステ川西びいぷう広場からキセラ川西せせらぎ公園間において実施した。
- ・懐古行列の目玉である騎馬武者の騎乗距離を伸ばすため、新たなルートを構築した。
- ・姉妹都市である千葉県香取市の市長が懐古行列に参加し、両市の交流を図ることができた。
- ・第60回を記念したクイズラリーを開催した。

【清和源氏まつりの観覧者数の推移】

(人)

	令和4年度 (第58回)	令和5年度 (第59回)	令和6年度 (第60回)
開催日	4月10日	4月16日	4月14日
観覧者数	7,000	18,000	21,000

※令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で中止

※令和4年度は、新型コロナウイルスの影響でキセラ川西せせらぎ公園等のイベントは中止

【猪名川花火大会】

- 伝統ある花火大会を開催し、多くの来訪者に本市をPRするため、8月16日に第76回猪名川花火大会を開催。
- ・大阪府池田市との共催で昭和23年から始まり、R6年度も無事開催された。
- ・約4,000発の花火を打ち上げ、川西市・池田市合計で約162,000人の観客が集まった。
- ・市政70周年に関連し、有料観覧席を70席無料招待した。
- ・開催経費の高騰のため、三者(猪名川花火大会開催委員会、川西市、池田市)合意のもとR7年度の開催を見送り、R8年度以降から隔年開催(2年に1回)へ移行した。
- ・池田市と比べ川西市の会場面積が小さく、会場に進入する経路等が狭いことを踏まえ、安全上の観点から観覧客の動線等を見直した結果、川西市側会場の観覧客は適正化され減少したが、全体の観覧客数は増加している。



【猪名川花火大会の観覧者数の推移】				(人)
	平成30年度 (第70回)	令和5年度 (第75回)	令和6年度 (第76回)	
川西市	67,000	70,000	52,000	
池田市	64,000	74,000	110,000	
合計	131,000	144,000	162,000	

※令和元年度から令和4年度は中止

【猪名川花火大会の警備に係る人数及び費用】			
	平成30年 第70回	令和5年 第75回	令和6年 第76回
川西市	職員人数	208人	229人
	時間外費用	-	3,942,000円
	警備員人数	436人	578人
	警備費	13,701,000円	26,242,000円
			33,651,000円

※令和元年度から令和4年度は中止

※職員人数に消防職員含む

※平成30年度の時間外費用については、システム導入前のため算出不可

【猪名川花火大会の開催にかかる経費】				(円)
	平成30年度 (第70回)	令和5年度 (第75回)	令和6年度 (第76回)	
合同経費	煙火費、興業中止保険、阪神高速通行止 規制負担金等	15,686,000	20,492,000	23,849,000
	川西市経費	19,101,000	33,167,000	43,870,000
	上記経費の主な金額	会場設営費	4,607,000	6,091,000
		警備費	13,701,000	26,242,000
	池田市経費	9,890,000	15,553,000	21,453,000
	合計	44,677,000	69,212,000	89,172,000

※令和元年度から令和4年度は中止



5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価 ＜有効性評価指標＞ <table> <tr> <td>R5年度より向上した</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5年度の水準に留まった</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R5年度の水準を下回った</td> <td></td> </tr> </table> 指標の結果をふまえた自己評価 ・「清和源氏まつり」は開催場所を多田地域から中心市街地へ移し、「清和源氏発祥の地 川西」を市内外へ広くPRできた。 ・「猪名川花火大会」をR5年度同様に事故なく開催し、多くの市民等に花火を楽しむ機会を提供したことにより本市を市内外にPRできた。	R5年度より向上した		R5年度の水準に留まった	○	R5年度の水準を下回った		効率性に係る自己評価 ・「清和源氏まつり」ではびいぶう広場からキセウ川西せせらぎ公園間の懐古行列の騎乗距離延長とキセウ川西せせらぎ公園を中心としたイベントを同時開催することでにぎわいづくりを創出できた。 ・「猪名川花火大会」については、池田市など関係機関とあり方について協議し、開催費高騰対策の観点から、開催を隔年開催へと移行した。
R5年度より向上した							
R5年度の水準に留まった	○						
R5年度の水準を下回った							
有効性評価指標の向上を含めた事業の課題 【清和源氏まつり】 ・清和源氏まつりは本市が「清和源氏発祥の地」であることをPRしているが、依然として市民や市外の方の認知度が低いことが課題である。 【猪名川花火大会】 ・多くの観覧者が来場するための会場の収容人数、動線を考慮し、さらなる安全対策の強化が課題である。 ・両市での経費格差解消のため、R5年度から差額の1/4を池田市が追加で負担する取り扱いとなったが、依然として負担の差があることが課題である。 ・昨今の気温上昇を鑑み、熱中症対策の強化が課題である。	R7年度以降に向けた取組みの方向性 ・「清和源氏まつり」については、懐古行列をキセウ川西せせらぎ公園から開始、騎乗距離変更などのルート見直しや、イベント実施、キッチンカー誘致など様々な事業見直しを行い、毎年度実績をふまえ適宜改善するほか、「清和源氏発祥の地 川西」を効果的に伝える方法について、協議を進めていく。また、多田神社のある多田地域との連携を検討する。 ・「猪名川花火大会」については、隔年開催となったため、R8年度の開催に向け、熱中症対策として開催時期の見直し等を含めた協議を池田市と行う。また、開催経費の負担割合についても池田市と引き続き交渉を行う。						

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	知明湖キャンプ場管理運営事業	所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	決算書頁	258
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	歴史・観光	小施策	歴史・観光		
市民とともに めざす未来像	・市民が歴史・文化財に興味を持ち親しんでいる ・市内での交流人口が増加し、にぎわいと愛着が生まれている				

2. 事業の目的

野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進に資する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内 訳	総事業費	22,920	27,429	△ 4,509	一般財源		22,920	25,395	△ 2,475
	事業費	21,525	26,177	△ 4,652	国県支出金				
	人件費				地方債				
	正・再任用職員 任期付・会計年度任用職員				特定財源(その他)			2,034	△ 2,034
	減価償却費	1,395	1,252	143	特定財源(その他) R6年度の主な種類				
(参考)正・再任用職員数(人)									

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	知明湖キャンプ場管理運営事業	細事業事業費(千円)	21,525
--------	----------------	------------	--------

R6年度の取組と成果

主 な 取 組	① 知明湖キャンプ場・国崎せせらぎ広場の管理・運営(指定管理者への管理委託料)… 17,828千円 ② 知明湖キャンプ場・国崎せせらぎ広場の維持・管理(修繕料)… 2,947千円				
有効性 評価 指標	指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)
	知明湖キャンプ場利用者数	人	20,153	21,981	22,890

①指定管理者による知明湖キャンプ場の管理・運営
指定管理者:株式会社トリムパーク
R6年度指定管理料:17,827,050円
(R6年度利用料金収入:15,124,590円)※利用料金は指定管理者の収入

○知明湖キャンプ場利用者数 (単位:人)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
川西市	2,443	3,434	4,278	4,069	5,001
川西市以外	8,829	12,885	16,389	15,068	16,050
全額免除	380	585	846	1,016	930
合計	11,652	16,904	21,513	20,153	21,981

※全額免除は、市、市教育委員会が主催・共催する公的事業開催のための使用、障がい者及び介助者が使用する際などが対象。
・青少年をはじめ市民がより身近に自然体験活動・野外活動を実施する機会を提供した。
・使用期間:通年営業
・休業日:火曜日 ※火曜日が祝日の場合は、翌日休業
※ゴールデンウィーク等は、火曜日も営業
・使用時間:日帰り/午前9時～午後5時
宿泊/初日の午後2時～午後4時までに入場、最終日の午後1時までに退場

②知明湖キャンプ場と国崎せせらぎ広場の一体的運用及び維持管理

R6年度から知明湖キャンプ場と国崎せせらぎ広場を一体化し、運用を開始した。
両施設において、経年劣化や施設の老朽化等に伴い、施設の修繕箇所が増加傾向にあるため、指定管理者と役割分担を行い、施設修繕等を行った。

【修繕内容・金額】

炊事場手洗い場漏水修繕	382千円
東側男子トイレ漏水修繕	228千円
炊事棟手洗い場漏水修繕	495千円
トイレ3箇所冬季対応修繕	1,309千円
保護蓋取付修繕	453千円
東側男子トイレ水洗バルブ修繕	82千円

【施工前】保護蓋取付修繕



【施工後】保護蓋取付修繕



5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価

<有効性評価指標>

R5年度より向上した	○
R5年度の水準に留まった	
R5年度の水準を下回った	

指標の結果をふまえた自己評価

・直近5年間の実績ベースでは、当施設の利用者数は減少傾向にあったが、R5年度から開始した通年営業や、R6年度から開始した国崎せせらぎ広場との一体的運用などに伴い、利用者数は増加に転じた。

効率性に係る自己評価

・国崎せせらぎ広場を市が国から正式に引き継ぎ、知明湖キャンプ場と一体管理・運用を開始したことで、効率的な施設管理が可能となった。

有効性評価指標の向上を含めた事業の課題

・黒川地域全体の活性化等を図るため、知明湖キャンプ場と国崎せせらぎ広場の一体的利用を十分に実施できていないことが課題である。

・国崎せせらぎ広場に隣接している一庫ダム湖の水位状況が変動することが、管理運営や利用者の安全対策上、課題である。

・場内の各施設が老朽化しており、必要な修繕箇所の増加が課題である。

R7年度以降に向けた取組みの方向性

・知明湖キャンプ場と国崎せせらぎ広場の更なる一体的利用にあたっては、R6年度に耐震改修を行った黒川里山センター南北棟などの周辺施設や里山の魅力なども総合的に勘案し、黒川地域全体の活性化に資する取組みを進めていく。

・一庫ダム湖の水位について、定期的にその増減を注視し、安全対策を講じていく。

・利用者数が増加傾向にあるため、老朽箇所の修繕など安全対策を進めていく。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	文化財事業	所管部・課	市民環境部 生涯学習課	決算書頁	352
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	歴史・観光	小施策	歴史・観光		
市民とともにめざす未来像	・市民が歴史・文化財に興味を持ち親しんでいる ・市内での交流人口が増加し、にぎわいと愛着が生まれている				

2. 事業の目的

市内の文化財を貴重な歴史文化遺産として保護、顕彰、活用する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R6年度	R5年度	比較	財源	R6年度	R5年度	比較
総事業費	229,984	145,259	84,725	一般財源	94,402	81,272	13,130
事業費	167,928	90,748	77,180	国県支出金	2,270	1,380	890
内 人件費	25,248	24,720	528	地方債	132,800	62,000	70,800
内 減価償却費	15,623	12,149	3,474	特定財源(その他)	512	607	△ 95
(参考)正・再任用職員数(人)	3	3		特定財源(その他) R6年度の主な種類	使用料及び手数料	諸収入	

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	文化財保存啓発事業	細事業事業費(千円)	17,242
--------	-----------	------------	--------

R6年度の取組と成果

主な取組	① 栄根寺廃寺遺跡を史跡公園として、旧加茂幼稚園を文化財の収蔵場所として活用(土地借上料)・・・9,428千円 ② 史跡加茂遺跡などの保存管理の推進(文化財保護用地の除草伐採等業務委託料)・・・2,870千円 ③ 市指定文化財久代春日神社瓦製狛犬防災設備(火災受信機)修繕事業への補助金(施設等整備・改良)・・・98千円				
有効性評価指標	指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)
	文化財保存啓発事業(発掘調査現地説明会を除く)への参加者数	人	185	377	450

・R7年3月10日付けで加茂遺跡の一部(8筆、約5,300㎡)が国指定史跡に追加指定された。
・加茂遺跡の公有化に向けた用地測量業務に着手した。

・R7年3月31日付けで「兵庫県立一庫公園モリアオガエル生息地」を市登録文化遺産に登録した。

・埋蔵文化財(遺跡)について、各種開発に対応して発掘調査を実施するとともに、R6年8月10日に加茂遺跡において現地説明会を開催した。

・R6年10月20日に市制70周年・川西市文化財資料館開館30周年記念で文化財講座「古墳時代後期の阪神地域」をオンラインで開催した。

・市文化財ボランティアガイドの会との共催で、文化財ハイキング(R6年10月19日に黒川地区ハイキング、R7年3月22日に満願寺ハイキング)を開催した。

・市文化財ボランティアガイドの会、加茂小コミュニティ協議会加茂遺跡クラブとの共催で、R6年11月23日に市制70周年記念・第10回加茂遺跡弥生のムラストンブラリーを開催した。

・R6年10月16日から同年12月4日に、文化財ボランティア養成講座全8回を開催し、市文化財ボランティアガイドの会の会員増加への支援をした。

・多田神社が所有する貴重な文化財が適切に保存、活用されるように、国や県と連携しながら状況把握に努めた。

(1) 発掘調査実施件数 (単位:件)

遺跡名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
加茂遺跡	4	4	7	7	6
その他	9	13	12	15	19
合計件数	13	17	19	22	25
合計面積(㎡)	162	2,242	600	482	280

(2) 文化財保存啓発事業参加者数 (単位:人)

事業名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
文化財講座	-	136	-	-	101
文化財ハイキング	-	16	23	11	41
加茂遺跡スタンプラリー	-	208	163	141	179
発掘調査現地説明会	-	-	-	248	125
文化財ボランティア養成講座	-	70	61	33	56
合 計	-	430	247	433	502

※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。



加茂遺跡第324次発掘調査現地説明会

<細事業2>		文化財施設管理事業		細事業事業費(千円)		150,686	
R6年度の取組と成果							
主な取組		① 郷土館旧平安邸耐震補強改修等工事(工事監理委託料)・・・6,006千円、(建設工事費)・・・98,230千円 ② 郷土館ミュージゼスポール空調機改修工事(設備工事費)・・・31,868千円 ③ 文化財施設の運営(会計年度任用職員報酬、同期末勤勉手当、同通勤費)・・・21,185千円					
有効性評価指標	指標名		単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)	
	文化財施設(文化財資料館・郷土館・歴史民俗資料館)の来館者数		人	7,695	7,663	11,500	
● 文化財資料館 ・R6年8月1日から同年10月14日まで市制70周年・開館30周年記念の特別展「阪神地域の横穴式石室めぐり」を、R7年1月8日から同年3月9日まで冬季企画展「発掘された地震跡」を開催し、期間中に関連講座も実施した。 ・発掘調査による出土遺物の整理、収蔵、展示を行った。 ・小学校などによる団体見学への対応、小学校への出前授業(勾玉作り体験)などを実施した。 ● 郷土館 ・R5年10月3日からR6年10月11日まで郷土館旧平安邸耐震補強改修等工事を実施した。工事期間中は土曜日、日曜日、祝日のみの開館とし、見学できる施設が旧平賀家住宅、ミュージゼスポールに限定されたため、入館料は全額免除とした。 ・郷土館旧平安邸耐震補強改修等工事の竣工を記念して、R6年10月12日に講演会を、同日から同年11月27日まで工事報告写真パネル展を開催した。 ・R6年7月31日からR7年3月14日までの工期で、郷土館ミュージゼスポール空調機改修工事を実施した。 ・施設の管理、運営、公開、展示、市制70周年記念の郷土館まつりなどの催しや講座などを開催した。 ● 歴史民俗資料館 ・老朽化による雨漏りが生じた、県指定重要有形民俗文化財である旧下堂家住宅、旧福田家住宅の茅葺屋根の応急修繕を県補助金を活用して実施した。 ・施設の管理、公開を行い、見学に対応した。							
(3) 文化財施設来館者数				(4) 文化財施設啓発事業参加者数			
(単位:人)				(単位:人)			
施設名		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
文化財資料館		1,363	2,709	2,688	3,511	3,921	
郷土館		1,271	4,553	5,827	3,330	2,835	
歴史民俗資料館		859	1,289	1,255	854	907	
合 計		3,493	8,551	9,770	7,695	7,663	
施設名		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
文化財資料館		86	502	581	676	658	
郷土館		-	467	640	296	247	
合 計		86	969	1,221	972	905	

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価 <有効性評価指標> <table> <tr> <td>R5年度より向上した</td><td></td></tr> <tr> <td>R5年度の水準に留まった</td><td>○</td></tr> <tr> <td>R5年度の水準を下回った</td><td></td></tr> </table> 指標の結果をふまえた自己評価 ・市制70周年記念で文化財講座をオンラインで開催したり、例年1回開催の文化財ハイキングを2回開催したことなどで、文化財保存啓発事業への参加者数が約2倍に増加した。 ・文化財資料館では市制70周年・開館30周年記念の特別展などを開催したことで来館者数が増加したが、郷土館では旧平安邸耐震補強改修等工事の影響で上半期が土曜日、日曜日、祝日の限定開館であったために来館者数が減少した。そのため、文化財施設への来館者数全体は横ばいとなった。	R5年度より向上した		R5年度の水準に留まった	○	R5年度の水準を下回った		効率性に係る自己評価 ・加茂遺跡で、長期間におよぶ発掘調査業務が生じたため、業務に従事する職員の時間を効率的に使用できるように加茂遺跡の発掘調査現場に隣接する文化財資料館においてもテレワーク環境で業務に従事できるように工夫をした。 ・文化財資料館で市制70周年・開館30周年記念の特別展などを開催するにあたって、通常の業務の見直しを行い、業務量の適正化を図ったが、職員の時間外勤務の縮減を徹底することができなかった。
R5年度より向上した							
R5年度の水準に留まった	○						
R5年度の水準を下回った							
有効性評価指標の向上を含めた事業の課題 ・加茂遺跡などの保存活用を推進するために、引き続き計画的に史跡追加指定、公有化を進める必要があるが、既に公有化した加茂遺跡文化財保護用地や、栄根寺廃寺遺跡史跡公園などを十分に活用できていないのが課題である。 ・文化財施設への来館者の属性がシニア層が中心で限定的であり、来館者数も横ばい状態であるため、新たな来館者の開拓が課題である。 ・文化財資料館、郷土館、歴史民俗資料館は他に代替することができない施設であり、今後も適切に維持管理していく必要があるが、計画的に修繕を進めることができていないことが課題である。	R7年度以降に向けた取組みの方向性 ・加茂遺跡などの保存活用を推進するために、国や県の補助金を活用しながら、史跡加茂遺跡保存活用計画に沿って追加指定、公有化を進めるとともに、公有化した加茂遺跡文化財保護用地の活用方法や暫定整備方法及び栄根寺廃寺遺跡史跡公園などのあり方について検討する。 ・文化財に関心がある若者を増やすために、特に学校教育との連携を深め、若い世代への発信に力を入れる。 ・国や県の補助金を活用しながら、文化財施設3館を計画的に修繕し、適切に維持管理していくとともに、魅力ある展示や催しを開催することで来館者数を増やす。また、施設の開館時間などの見直しについて検討する。						

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	商工振興事業	所管部・課	市民環境部 産業振興課	決算書頁	250
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	地域産業	小施策	商工振興		
市民とともにめざす未来像	・起業の支援を受けることができる環境が身近にあり、魅力的な新規事業者の事業所が多数ある ・地域の既存産業に活気があり、買い物等生活の利便性の向上により、身近な地域で豊かな暮らしが実現できている				

2. 事業の目的

商工業者の経営の安定と技術の改善・発展を支援する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内訳	総事業費	47,874	225,208	△ 177,334	一般財源		43,549	35,380	8,169
	事業費	19,837	206,373	△ 186,536	国県支出金		4,226	189,669	△ 185,443
	人件費	25,248	16,480	8,768	地方債				
	正・再任用職員	25,248	16,480	8,768	特定財源(その他)		99	159	△ 60
	任期付・会計年度任用職員	2,789	2,355	434	特定財源(その他) R6年度の主な種類	諸収入			
(参考)正・再任用職員数(人)		3	2	1					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	商工振興事業	細事業事業費(千円)	19,837
--------	--------	------------	--------

R6年度の取組と成果

主な取組	① 新規出店の支援(補助金)・・・3,203千円 ② 川西市商工会への支援(補助金)・・・11,319千円 ③ コワーキングスペース開設の支援(補助金)・・・2,216千円 ④ ガバメントクラウドファンディング(GCF)を活用した社会起業家支援事業(業務委託料等)・・・1,155千円 ⑤ 女性起業サポート事業(業務委託料)・・・1,800千円				
有効性評価指標	指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)
	新規出店事業支援補助金による支援件数	件	6	8	10
	川西市商工会への事業者加入率	%	39.0	42.7	50.0

①新規出店の支援

魅力的な店舗の出店を促進しにぎわいを創出するため、小売業・飲食業で出店する事業者に改装費、さらに、中心市街地に新店出店した事業者には、家賃に対する補助金を交付した。

所在地	業態	改装費	家賃
中央町	飲食業	500千円	
小戸1丁目	カフェ	500千円	37千円
小戸1丁目	カフェ	500千円	31千円
小戸2丁目	カフェ		55千円
小戸2丁目	飲食業		80千円
東畦野2丁目	小売業	500千円	
加茂2丁目	飲食業	500千円	
水明台1丁目	カフェ	500千円	
合計		3,000千円	203千円

※補助対象者は、開店前、開店後6ヶ月及び18ヶ月を経過した時に、中小企業診断士等の専門家の経営指導を受けること

ができる制度となっているが、経営指導の利用実績はなかった。

②川西市商工会への支援

市内商工業の活性化、経営安定のための経営改善普及事業等に取り組む川西市商工会を支援した。

■経営指導員による相談・指導・巡回指導 833件 ・窓口指導 427件 ・創業指導 118件

■専門指導員による個別相談指導(経営)79件 ■金融のあっせん 37件

③コワーキングスペース開設の支援

起業・テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、R3年度に採択したコワーキングスペース運営事業者に家賃等の運営費用を支援した。(R6年度が最終年度)

4年度にわたり運営費用の補助を行うことで、年々会員数等は増加しており、コワーキングスペースの安定的な運営に寄与した。

所在地:中央町 面積:141.88㎡ 席数:31席
市補助額:2,216千円 補助期間:R3年度からR6年度まで

○会員数の推移

項目	R4	R5	R6
会員数	21人	28人	48人

④ガバメントクラウドファンディング(GCF)を活用した社会起業家支援事業

商工会と連携し、市の地域課題の解決に向けたビジネスプランを募集し、審査で選定された事業者に対し、GCFキックオフ発表会を行うとともに、GCFを活用した資金調達を開始した。

○審査及び発表会経過

(件・人)

○2次審査通過プラン一覧

項目	実績値	審査結果	事業者の商号 又は名称	事業計画名
応募件数	14	最優秀賞	一般社団法人 Sasabase	笹部発！多世代寺子屋～教育と観光の融合 里山エデュ・ツーリズム事業
1次審査通過件数	8			
2次審査通過件数	3			
ビジネスプラン発表会参加者数	80	特別賞	株式会社 SY'sD	農地を蝕む竹を炭に変え土壌改良！ 川西市の名産ニンニクを作ろう事業
		優秀賞	株式会社 あづま商事	地域人材活用による高付加価値な 空き家管理サービスの実施事業

※最優秀賞には市から20万円、特別賞には商工会より5万円の賞金を授与

⑤女性起業サポート事業

起業を希望する女性に対し、起業を考え始めた段階から起業後のフォローまでを総合的に支援する「川西女性起業塾」を開催し、女性起業家の育成及び多様な働き方の醸成を図った。先輩起業家と話す機会を設ける等、起業家コミュニティの形成を図った。

■各セミナー参加者 ・入門 13人・ベーシック 7回延べ48人 ・ステップアップ 2回延べ9人

○受講者の起業家数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
累計	14件	25件	31件	34件	36件
単年度	4件	11件	6件	3件	2件

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価

<有効性評価指標>

R5年度より向上した	○
R5年度の水準に留まった	
R5年度の水準を下回った	

指標の結果をふまえた自己評価

・商工会と連携してGCFを活用した社会起業家支援事業を実施する等新たな取り組みを行い、他の起業支援施策と連携実施することにより、さらに重層的な起業支援を実施した。

・新規出店事業支援補助金においては、採択件数はR5年度より増加し、予算上限に達する等、起業家や地域事業者のニーズに合わせて有効な起業支援及び地域商業の活性化支援を実施した。

有効性評価指標の向上を含めた事業の課題

・資金的な支援から連続セミナーによる伴走的な支援まで、重層的な起業支援を実施できている。今後、さらなる地域商業全体の活性化を図るためには、市・事業者・商工会がより密接に連携した事業を展開する必要があるが、3者それぞれの役割が明確になっておらず、施策を推進する枠組みが構築されていないことが課題である。

・事業者の継続的な経営の安定のためには、事業者のニーズを捉えた施策を検討する必要があるが、本市の地域特性・地域課題を十分に把握できていないことが課題である。

・GCFを活用した社会起業家支援事業においては、市民からの寄附には返礼品がないため、寄附金が集まりづらい状況にあることが課題である。

効率性に係る自己評価

・GCFにて調達した寄附金を事業者に交付する補助金全額の財源としているため、市としては一般財源を支出することなく、効率的に地域課題を解決する社会起業家の支援を行うことができた。

・商工会への支援において、R5年度より団体運営補助から事業奨励補助に転換した補助制度を活用し、対象事業費を精査した上で適正な補助金交付を行い、重点的に実施している巡回指導件数等の実施実績を上昇させることができた。

R7年度以降に向けた取り組みの方向性

・事業者の現状や課題感、支援ニーズを把握するため、アンケート調査を実施し、アンケート結果を基に、商工会や地域事業者、金融機関等と協議を進める。また、市・事業者・商工会のそれぞれの役割を明確化し、施策を総合的かつ計画的に推進する枠組みを構築する中小企業振興条例を制定する。

・産業ビジョン推進委員会においては、アクションプランの進捗管理を進めるとともに、産業ビジョンと中小企業振興条例との連動を図る。

・GCFを活用した社会起業家支援事業においては、資金調達的手段として、事業者自身が実施するクラウドファンディングとの併用等による、調達資金の増加をめざす。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	中小企業支援事業	所管部・課	市民環境部 産業振興課	決算書頁	250
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	地域産業	小施策	商工振興		
市民とともにめざす未来像	・起業の支援を受けることができる環境が身近にあり、魅力的な新規事業者の事業所が多数ある ・地域の既存産業に活気があり、買い物等生活の利便性の向上により、身近な地域で豊かな暮らしが実現できている				

2. 事業の目的

中小商工業者の経営基盤を確立し、地域商業を活性化する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内訳	総事業費	11,696	118,506	△ 106,810	一般財源		9,186	9,668	△ 482
	事業費	3,280	110,266	△ 106,986	国県支出金			104,069	△ 104,069
	人件費	8,416	8,240	176	地方債				
	正・再任用職員				特定財源(その他)		2,510	4,769	△ 2,259
	任期付・会計年度任用職員				特定財源(その他)	諸収入			
(参考)正・再任用職員数(人)		1	1		R6年度の主な種類				

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>		中小企業支援事業		細事業事業費(千円)		3,280	
R6年度の取組と成果							
主な取組		①中小企業振興事業補助金等の交付(補助金)…503千円 ②中小企業融資あっせん事業(預託金)…2,510千円					
有効性評価指標		指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)	
		見本市出展補助事業補助金 件数	件	2	2	4	
		エコアクション21認証登録補助金 件数	件	1	2	4	
①中小企業振興事業補助金等の交付(補助金) ●見本市出展補助事業 販路の拡張及び情報収集のため、国・県等が主催・後援する見本市に出展する事業者に対し補助する。 (実績) ■市内事業所:2件 ■補助総額:180千円 ●エコアクション21認証・登録補助金 環境への取組を促進するため、エコアクション21認証・登録制度を利用する事業者に対し、審査に要した費用の一部を補助する。 (実績) ■市内事業所:2件 ■補助総額:142千円 ●経営革新支援事業補助金 時代と共に変化する経営環境に対応した新たな取組みを推進するため、兵庫県が承認した「経営革新計画に基づく事業に係る経費を一部補助する。 (実績) ■市内事業所:1件 ■補助総額:181千円							

②中小企業融資あっせん事業(預託金)

川西市中小企業振興資金融資あっせん制度は、市内中小企業者を育成、助長することを目的に、取扱金融機関及び兵庫県信用保証協会の協力を得て、原則、「低利」「固定」で各種事業資金の融資あっせんを行ってきた。

また、中小企業信用保険法に基づき、新型コロナウイルス感染症等により経営に支障をきたしている中小企業者への資金繰り支援として、保証限度額の別枠化に係る各認定を行った。

○融資あっせん制度貸与残高 (単位:円)

貸付年度	件数	R5年度末残高	件数	R6年度末残高
H19	1	3,315,000	1	3,133,000
H20	1	1,634,000	1	1,556,000
H30	4	1,347,000	1	46,000
R1	4	1,804,800	3	508,400
合計	10	8,100,800	6	5,243,400

※R1年度で新規貸付を終了し、R2年度以降は取扱金融機関に対して貸付残高(9月末時点)の4分の1の額である2,510千円の預託のみを実施。

○中小企業信用保険法による認定件数(単位:件)

年度	SN4号	SN5号	6項	合計
R1	30	17	2	49
R2	430	134	486	1050
R3	35	8	52	95
R4	59	34	0	93
R5	55	42	0	97
R6	11	33	0	44

■認定条件

原則、売上高等が前年同月比で規定割合以上減少

■認定区分

4号:突発的災害(新型コロナウイルス感染症)

R2年3月2日より全都道府県を対象に指定

5号:業務が悪化している業種

6項:危機関連保証(大規模な経済危機等への対応)

R2年3月13日~R3年12月31日

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価

<有効性評価指標>

R5年度より向上した	
R5年度の水準に留まった	○
R5年度の水準を下回った	

指標の結果をふまえた自己評価

・商工会と連携し、中小企業に対する補助制度の周知を強化することで、補助を継続的に実施できた。

・セーフティネットの保証認定を迅速に行うことで、中小企業者の経営継続につなげることができた。

効率性に係る自己評価

・中小企業者向けの補助金である経営革新事業支援補助金、産業財産権取得補助金、技術開発補助金は、中小企業者の多様なニーズに応えるために設計されているが、これらの補助金は国や県の承認や随伴補助など特定の要件を満たす必要があり、R6年度では実績がなかった。

有効性評価指標の向上を含めた事業の課題

・中小企業者の事業継続や事業発展において、商工会と連携した事業実施及び連携体制が不十分であることが課題である。

・中小企業者、個人事業者向けに事業活動を支援する目的で補助金を創設しているが、一部利用が低調なものが課題である。

・地域商業の継続的な発展に向けて、事業承継の支援を行う仕組みづくりが構築できていないことが課題である。

R7年度以降に向けた取組みの方向性

・中小企業振興条例を制定し、地域の実情の応じた支援策等を商工会と連携しながら検討していく。

・産業ビジョンに基づき事業を進めていくとともに、物価高騰等経済情勢も考慮しながら、中小事業者のニーズに合った施策を実施し、地域商業の活性化を支援していく。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	中心市街地活性化推進事業	所管部・課	市民環境部 産業振興課	決算書頁	250
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	地域産業	小施策	商工振興		
市民とともにめざす未来像	・起業の支援を受けることができる環境が身近にあり、魅力的な新規事業者の事業所が多数ある ・地域の既存産業に活気があり、買い物等生活の利便性の向上により、身近な地域で豊かな暮らしが実現できている				

2. 事業の目的

中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内訳	総事業費	29,088	27,727	1,361	一般財源		29,088	27,727	1,361
	事業費	14,470	14,396	74	国県支出金				
	人件費	8,416	8,240	176	地方債				
	正・再任用職員	8,416	8,240	176	特定財源(その他)				
	任期付・会計年度任用職員	6,053	4,942	1,111	特定財源(その他)				
(参考)正・再任用職員数(人)		1	1		R6年度の主な種類				

4. 事業目的達成のための手段と成果

＜細事業1＞	中心市街地活性化推進事業	細事業事業費(千円)	14,470		
R6年度の取組と成果					
主な取組	① 川西市中心市街地活性化協議会への事業運営支援(補助金)・・・3,855千円				
	② タウンマネージャー事業(業務委託料)・・・4,304千円				
	③ まちなか滞留・実感調査(業務委託料)・・・3,894千円				
有効性評価指標	指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)
	まちなか交流拠点マチノマの来室者数	人	3,188	3,905	4,500
	ペDESTリアンデッキでのイベント開催回数	回	36	26	40
① 川西市中心市街地活性化協議会への事業運営支援 川西市中心市街地活性化協議会に補助金を交付し、各事業実施や協議会運営の支援を実施。					
○中心市街地活性化活動拠点[まちなか交流拠点マチノマ]の運営 中心市街地の活動拠点として、地域の事業者・プレイヤーの活動・交流の活性化と情報発信を実施。 交流スペース予約件数 233件／R5年度 161件					
≪実施事業≫					
	目的・内容			R5年度	R6年度
●相談会					
(1)起業相談会	起業希望者が、独自性を活かした自立経営ができるよう、相談支援を実施			28件	18件
(2)なんでも相談会	中心市街地エリアでの活動についての相談支援を実施			29件	23件
(3)マチノマ利用相談会★	マチノマを利用したイベントや木箱の利用方法等の相談支援を実施			-	23件
●実施事業					
(1)展示・販売スペース	プレイヤーの起業支援、商品・事業PRのため、木箱内で商品販売や展示を実施			14者	11者
(2)おやつミーティング	中心市街地で活動する事業者・プレイヤーの交流を目的に、トークイベントを実施			8回	5回(89名)
(3)夜間開設 ヨルノマ★	通常開設時間にマチノマへの来室が難しい層(ビジネスマンや学生)の来室促進と交流の場の創設			-	366名
(4)不動産内覧会★	出店希望者と中心市街地エリア内の空きテナントをマッチングする下地作り			-	17名
(5)中活人物名鑑★	中心市街地で活躍するプレイヤーの可視化、プレイヤーとの繋がりをもちたい人のきっかけ作り			-	10名
(6)マチノマ部認定・交流会★	マチノマの定期利用者の確保と活動の可視化、利用者同士の交流を促し新たなイベントの創出			-	7者
(7)協議会実務担当者交流会★	各団体との連携強化や協議会事業の認知向上・参画推進を目的に、実務担当者による意見交換			-	9者
(8)写真講座★	スマートフォンでの撮影の基本知識やテクニックを学ぶ場を提供、事業や活動の訴求力向上を促進			-	17名
★R6年度新規事業					

- まちの学び舎かわにしの実施(ビジネス交流スクール前身事業/目標:総参加者数100名)
近隣都市で働く市内及び近郊在住のビジネスパーソンの交流を促進する事業を実施することで、まちの活動とのつながりを促し、まちのプレイヤーの増加を図った。また、本事業でまちの活動に流入したビジネスパーソンと既存プレイヤーとの連携を促すことで、10月末に藤ノ木さんかく広場を活用したイベントを実施するなど、本事業で知り合った参加者同士が持つスキルを生かし、新たな活動の創出を図った。

	日程	場所	テーマ	参加人数
DAY0	7月6日(土)	能勢電鉄・川西能勢口駅5番ホーム	『プレイベント(キックオフ)』みんなでキックオフイベント	102名
DAY1	8月19日(月)	川西市立ギャラリーかわにし	『デザインと編集』地域をデザイン?まちを編集?	75名
DAY2	9月8日(日)	極楽湯	『働く遊ぶ』『自分』と『組織』をどう掛け合わせる?	54名
DAY3	10月11日(金)	Cafe&Live Space 露依楼園	『まちと小商い』小さな声と思いをどう形にする?	27名
DAY4	11月13日(水)	川西市役所HugConnect	『公共空間の活用』まちの「公共」をどうアップデートする?	40名
合計				298名

- ペDESTリアンデッキ(川西能勢口駅南北デッキ)にぎわい活用事業
来街者の増加を図るため、道路管理者と連携してペDESTリアンデッキ(川西能勢口駅南北デッキ)にぎわいイベントの開催及び適切なデッキ活用に向けた取組を実施。

- 藤ノ木さんかく広場運営事業

広場を日常的ににぎわいが生まれるイベント広場として活用し、中心市街地エリアのさらなるにぎわい創出を図った。出店店舗数はR5年度から4店舗増加し、事業者による広場の活用が広がっている。

■ペDESTリアンデッキのイベント等開催回数

	R4年度	R5年度	R6年度
総活用回数	23回	36回	26回
民間事業者による活用回数	7回	24回	18回
活用民間事業者数	3者	7者	6者

■藤ノ木さんかく広場

	R4年度	R5年度	R6年度
利用日数	266日	215日	225日
出店店舗数	23店舗	26店舗	30店舗

■市役所南広場

	R4年度	R5年度	R6年度
利用日数	6回	24回	24回
出店店舗数	9店舗	17店舗	17店舗

- 市役所南広場キッチンカー出店

市役所南広場を活用したキッチンカー出店を24回開催し、公共空間を活用したにぎわいづくりを実施。

- ②タウンマネージャー事業

事業者や地域団体との連携強化、事業の企画・運営、人材の発掘・育成などを担うタウンマネージャーを登用し、中心市街地活性化の推進体制を構築した。

- ③ まちなか滞留・実感調査

中心市街地の来街状況や回遊動向を把握するため歩行者・自転車通行量などの調査を実施。R6年度には、デッキ活用などの事業効果により、歩行者自転車通行量(休日)の目標値46,547人を上回る結果となった。
平日:R6.9.27(金)(9時~20時)晴れ時々曇り 休日:R6.9.28(土)(9時~20時)晴れ

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
平日	川西能勢口駅周辺4地点	34,986人	36,867人	36,210人	36,519人	35,580人
	キセラ川西地区周辺2地点	2,823人	3,660人	4,089人	3,921人	4,731人
休日	川西能勢口駅周辺4地点	32,289人	39,855人	39,771人	40,551人	45,912人
	キセラ川西地区周辺2地点	4,398人	4,974人	5,091人	5,343人	4,005人

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価

<有効性評価指標>

R5年度より向上した	○
R5年度の水準に留まった	
R5年度の水準を下回った	

指標の結果をふまえた自己評価

・まちなか交流拠点マチノマにおいて、各種相談会や交流会等の多様な事業を実施したことで、R5年度3,188名であった来室者数から717名(R5年度対比+20%程度)増加させることができた。
・ビジネス交流スクールの前身事業にあたる「まちの学び舎かわにし」の実施により、目標総参加者数の100名を超える298名の参加者が集まり、新たなまちのプレイヤーの発掘につながった。

効率性に係る自己評価

・まちなか交流拠点マチノマの運営を支援し、起業相談や交流会の開催等、地域の事業者・プレイヤーの活動・交流の促進を図ったことに加えて、道路空間や広場を活用したイベントの開催及び支援を実施するなど、R5年度と同額の補助金で、相談会事業1件、実施事業6件を新たに実施することができた。
・「まちの学び舎かわにし」では、共催企業の協力を得ることで、予算規模を変更せずに、当初想定していた規模を大きく上回る事業として実施することができた。

有効性評価指標の向上を含めた事業の課題

・まちなか交流拠点マチノマの来室者数をさらに増加させるためのスキームが不十分であることが課題である。
・新たなプレイヤーの発掘・育成につなげていく事業の構築が不十分であることが課題である。
・タウンマネージャー事業は、現状、一人体制で業務を担っており、負担が大きくなってきていることが課題である。
・第3期川西市中心市街地活性化基本計画の目標指標達成に向けて、計画期間を1年延長し、目標達成に向けた取組を展開している。次の第4期川西市中心市街地活性化基本計画の認定に向けて、さらなるにぎわいを創出するために、多くのプレイヤーが生まれる環境の整備ができていないことが課題である。

R7年度以降に向けた取組の方向性

・まちなか交流拠点マチノマの利用促進に向けて、ギャラリー川西の活用方法を検討していく。
・まちなか交流拠点マチノマの活用やビジネス交流スクールの実施により、タウンマネージャーを中心に引き続きプレイヤーの発掘・育成を進めるとともに、タウンマネージャーの複数人体制による運用を検討する。
・川西市中心市街地活性化協議会について、まちづくり公社と一体となって事業の推進を図る。
・第4期川西市中心市街地活性化基本計画の認定をめざして、旧文化会館跡地の施設を絡めた新たなにぎわいの創出や、育成されたプレイヤーが中心市街地各所のにぎわい拠点で活動・活躍できる環境を整えるなど、中心市街地全体のにぎわいの底上げを図っていく。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	農業振興事業	所管部・課	市民環境部 産業振興課	決算書頁	246
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	地域産業	小施策	農業		
市民とともにめざす未来像	・市内の特産品が広く知られ、持続的に生産をされている ・市民が川西市産の農産物を積極的に食べている				

2. 事業の目的

持続可能な農業を振興し、地産地消を推進する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内訳	総事業費	109,671	110,967	△ 1,296	一般財源		82,272	82,622	△ 350
	事業費	38,926	41,389	△ 2,463	国県支出金		4,431	25,079	△ 20,648
	人件費	25,248	24,720	528	地方債		10,000		10,000
	正・再任用職員	25,248	24,720	528	特定財源(その他)		12,968	3,266	9,702
	任期付・会計年度任用職員	4,233	3,594	639	特定財源(その他) R6年度の主な種類	分担金及び負担金			諸収入
(参考)正・再任用職員数(人)		3	3						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>		農業振興事業		細事業事業費(千円)		9,901		
R6年度の取組と成果								
主な取組		① 担い手育成支援(消耗品費、保険料)・・・20千円 ② 農業振興支援(補助金)・・・989千円 ③ 有害鳥獣等捕獲(報償費)・・・1,624千円						
有効性評価指標		指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)		
		有害鳥獣用防護柵購入事業補助金の交付件数	件	8	9	15		
		桃、いちじくの即売会の来場者数	人	520	918	1,000		
		直売所マップの登録数(通算)	件	16	16	20		
①担い手の育成支援 農業担い手づくり事業(市・JA共催) (目的)矢野農園でJAによる農業講習会を開催し、受講後、新規就農につながるよう支援する。 ※R3年度より実施。参加者のうち、3名が新規就農につながった。								
				【農業担い手づくり事業参加者数】 (単位:人)				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
参加者数				9	6	10	10	
②農業振興直接支援 (目的)農業の健全な発達と振興及び地域の活性化を図るとともに、農林業及び経済の発展向上に寄与する。 ○特産物PRイベント(農林産物品評会・即売会) (事業実績) 交付対象者:川西市特産物イベント実行委員会 ※北摂果は、JA主体でスマイル阪神にて特設販売。								
				【即売会来場者数】 (単位:人)				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
桃の品評即売会				感染症拡大防止のため中止	感染症拡大防止のため中止	600	520	418
いちじくの品評即売会				中止のため中止	天候不良のため中止	感染症拡大防止のため中止	天候不良のため中止	500
○有害鳥獣用防護柵購入事業(R5年度～) 有害鳥獣用防護柵を購入する農業者に対して、農作物被害を防止するために設置する電気柵、ネット柵、トタン柵及びワイヤーメッシュ柵の設置に要する経費を補助する。								
				【事業実績】				
防護柵の種類				R5年度		R6年度		
				交付人数(人)	補助額(円)	交付人数(人)	補助額(円)	
ネット柵				7	334,750	5	221,937	
ワイヤーメッシュ柵				1	50,000	—	—	
電気柵				—	—	3	130,795	
ネット柵・電気柵				—	—	1	50,000	
合計				8	384,750	9	402,732	
③有害鳥獣等捕獲頭数 (目的)猟友会に対して捕獲を依頼し、農作物等の鳥獣被害を防止する。								
				【捕獲実績】 (単位:頭)				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
アライグマ				109	103	90	89	180
ヌートリア				0	7	2	2	6
イノシシ				102	30	28	48	34
シカ				66	53	66	74	66

<細事業2>		農業用施設改良事業		細事業事業費(千円)		29,025																				
R6年度の取組と成果																										
主な取組		① 農業用施設等の改良に対する支援(補助金)・・・306千円 ② 加茂井堰にかかる費用(報償費、旅費、委託料、工事請負費)・・・6,486千円 ③ 久代北台井堰補修工事(工事請負費)・・・19,920千円																								
有効性評価指標	指標名		単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)																				
	ため池保全計画書整備率(要監視等と判定された特定ため池)		%	—	30.8	100																				
①農業用施設等の改良に対する支援 (目的)農業用施設等の改修に要する費用について、市が補助を行うことにより、農地の安全と農業生産力の向上を図る。 (補助制度)ア 農業用施設応急改良事業費補助金 補助割合1/2(上限10万円) イ 農業用施設改良事業費補助金 補助割合1/2(予算の範囲内)																										
				<table><tr><td>補助制度</td><td>対象地区</td><td>工事内容</td><td>補助額 (円)</td></tr><tr><td rowspan="2">ア</td><td>加茂地区</td><td>ゴミトラップの修繕</td><td>44,000</td></tr><tr><td>山原地区</td><td>水路修繕工事</td><td>100,000</td></tr><tr><td>イ</td><td>西多田地区</td><td>ため池フェンス修繕工事</td><td>161,947</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>305,947</td></tr></table>				補助制度	対象地区	工事内容	補助額 (円)	ア	加茂地区	ゴミトラップの修繕	44,000	山原地区	水路修繕工事	100,000	イ	西多田地区	ため池フェンス修繕工事	161,947	合 計			305,947
補助制度	対象地区	工事内容	補助額 (円)																							
ア	加茂地区	ゴミトラップの修繕	44,000																							
	山原地区	水路修繕工事	100,000																							
イ	西多田地区	ため池フェンス修繕工事	161,947																							
合 計			305,947																							
②加茂井堰の維持管理 保守管理委託、漏水対応、修繕などを実施した。																										
				【事業実績】																						
				<table><tr><td></td><td>業務内容</td><td>金額 (円)</td></tr><tr><td>保守管理委託</td><td>本体等の保守点検業務など</td><td>3,533,200</td></tr><tr><td>漏水対応</td><td>意見聴取や漏水箇所への止水</td><td>2,478,360</td></tr><tr><td>応急修繕など</td><td>摩耗部の修繕など</td><td>474,100</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>6,485,660</td></tr></table>					業務内容	金額 (円)	保守管理委託	本体等の保守点検業務など	3,533,200	漏水対応	意見聴取や漏水箇所への止水	2,478,360	応急修繕など	摩耗部の修繕など	474,100	合 計		6,485,660				
	業務内容	金額 (円)																								
保守管理委託	本体等の保守点検業務など	3,533,200																								
漏水対応	意見聴取や漏水箇所への止水	2,478,360																								
応急修繕など	摩耗部の修繕など	474,100																								
合 計		6,485,660																								
③久代北台井堰補修工事 (事業内容) 久代北台井堰の老朽化により、農業用水の取水ができなくなったため、補修工事を行った。 事業費:49,799,200円 R6執行(前払金):19,919,680円 R7への繰越し:33,080,320円 (施工前)  (施工中) 																										

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価	効率性に係る自己評価						
<有効性評価指標> <table border="1"> <tr> <td>R5年度より向上した</td><td>○</td></tr> <tr> <td>R5年度の水準に留まった</td><td></td></tr> <tr> <td>R5年度の水準を下回った</td><td></td></tr> </table> 指標の結果をふまえた自己評価 ・農業担い手づくり事業を行い、市民ファーマー制度などの次へのステップにつながるように、担い手の確保に努めた。 ・有害鳥獣防護柵購入事業では、前年度より交付件数、金額ともに増加し、農作物被害の防止に努めた。 ・加茂井堰下流側で発生した漏水に対し、学識経験者の意見を求めるとともに、経過観察や止水工事を行い、改善に努めた。	R5年度より向上した	○	R5年度の水準に留まった		R5年度の水準を下回った		効率的に自己評価 ・農業者・JA・市で構成される特産物イベント実行委員会の主催により、桃・いちじく品の品評即売会を開催した。桃やいちじくがより多くの方に行き渡ることを目的に、整理券の配布方法を含む運営方法の見直しを実施した結果、運営に対するクレームが減少し、職員の対応時間を削減することができた。 ・多面的機能支払交付金事業を活用している活動組織(西畦野)に対して、国県補助を活用し、同地域内で実施した農業用施設の維持管理や修繕、獣害対策、遊休農地の保全など多岐にわたる活動を支援した。
R5年度より向上した	○						
R5年度の水準に留まった							
R5年度の水準を下回った							
有効性評価指標の向上を含めた事業の課題 ・市街化区域内の生産緑地では、30年の期間満了を迎えたことを契機に農地転用が進み、農地面積が減少している一方で、市街化調整区域では、生産者の高齢化や担い手不足による耕作放棄地の増加が課題である。 ・有害鳥獣の捕獲・処分活動にかかる費用の高騰など猟友会への負担が増加するとともに、同会員の高齢化や担い手不足が課題である。 ・加茂井堰の竣工から20年以上が経過し、老朽化や不具合が生じていることに伴い、維持管理経費が増加していることが課題である。	R7年度以降に向けた取組みの方向性 ・生産緑地については、指定から30年を迎えたR4年以降、農地転用により一定農地が減少したが現在は落ち着いている。また、市街化調整区域内の耕作放棄地については、市の担い手づくり事業や市民ファーマー制度などを活用し担い手の確保に努める。 ・有害鳥獣による農業被害は、農作物への被害だけでなく、営農意欲の減退にもつながるため、猟友会等の協力を得て、有害鳥獣の捕獲を進めることに加えて、さらに有効な対策を検討する。 ・加茂井堰の更新や維持管理にかかる費用の分担などについて、関係機関や水利組合と協議し、方向性を検討する。						

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	就労支援事業	所管部・課	市民環境部 産業振興課	決算書頁	240
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	地域産業	小施策	雇用就労・働く場の創出		
市民とともにめざす未来像	・希望する就労や働き方に関する情報が手軽に得られ、地域で働くことができています				

2. 事業の目的

職業紹介や求人情報の提供による安定した雇用機会を提供する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源	R6年度	R5年度	比較
内訳	総事業費	8,207	7,748	459	一般財源	5,281	4,756	525
	事業費	5,637	5,066	571	国県支出金			
	人件費				地方債			
	正・再任用職員				特定財源(その他)	2,926	2,992	△ 66
	任期付・会計年度任用職員	2,570	2,682	△ 112	特定財源(その他) R6年度の主な種類	財産収入	分担金及び負担金	
(参考)正・再任用職員数(人)								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	就労支援事業	細事業事業費(千円)	5,637
--------	--------	------------	-------

R6年度の取組と成果

主な取組	①川西しごと・サポートセンター及び若者キャリアサポート川西の運営(報酬等)…2,570千円 ②川西しごと・サポートセンターの管理(負担金)…2,332千円 ③川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金(補助金)…420千円 ④シューカツトレキャン(報償費等)…44千円				
有効性評価指標	指標名	単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)
	若者キャリアサポート川西相談件数	件	485	529	600
	就職支援セミナー参加者数	人	31	22	60
	障がい者継続雇用奨励金件数	件	0	1	3

【川西市雇用対策協定に基づく事業実施及び労働局との連携】

「川西市雇用対策協定」に基づき、作業部会及び運営協議会を設置し、事業の実施状況や課題を共有することで、兵庫労働局との連携強化と雇用・労働環境の改善などに取り組んだ。また、共有した課題や当年度の事業実績を反映し、事業計画(R7年度)を策定した。

■作業部会 R6年8月7日、R7年2月7日 ■運営協議会 R7年3月11日

①川西しごと・サポートセンターの運営

兵庫労働局との一体的実施事業として川西しごと・サポートセンターを設置し、職業相談・紹介とセミナー開催等を行い求職者を支援した。情報提供型の支援から就労困難者への伴走・課題解決型の支援に移行し、セミナーの追加実施や企業向け就職支援セミナー・相談会を実施した。

○川西市の役割

- 市の各種支援制度の情報提供及び相談
- 労働相談(月2回)
- キャリアカウンセリング(月4回)
- 各種(生活・介護等)相談及び支援機関の情報提供
- 就労希望者等の職業相談への誘導
- キャリアデザインセミナー(年4回)

○兵庫労働局の役割

- ハローワークインターネットサービス端末の設置(6台)
- 求職者に対する職業相談、職業紹介
- 市が実施する労働相談等の利用勧奨

(実績) 川西しごと・サポートセンター

(人、件)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
来所者数	27,135	24,772	19,570	15,822	14,866	14,659
新規求職者数	1,442	1,657	1,566	1,378	1,301	1,210
職業紹介件数	4,058	3,805	3,295	2,921	2,531	2,491
就職件数	922	668	608	577	543	552

②若者キャリアサポート川西の運営

同センター内に兵庫労働局事業の「若者キャリアサポート川西」を併設し、概ね40歳未満と対象に職業相談とセミナー、面接会を行い求職者を支援した。

(実績) 若者キャリアサポート川西

(人、件)

	R2	R3	R4	R5	R6
相談来所者数	448	569	173	485	529
新規求職者数	117	109	80	128	244
就職件数	41	87	18	25	82

○若者サポート事業

- 相談窓口の設置 ■キャリア形成支援のための相談(週4日)
- 社労士による労働条件、生活支援相談(週1日)

○就職支援セミナー(各年間1回実施)

- 就職活動などにおけるストレス対処に関する支援(R6年10月11日)
- 就職活動などに役立つ会話力アップ支援(R6年10月21日)
- 自己理解が深まるキャリア・プランに関する支援(R6年11月1日)
- 自己を発見しながら学ぶ応募書類作成支援(R6年11月22日)

(参加者数)

	R2	R3	R4	R5	R6
合同就職会in川西	30	29	10	49	42
就職支援セミナー	23	21	8	31	22
上乗せ就職支援セミナー	—	—	—	37	—
キャリアカウンセリング	340	433	171	483	495
労働・生活相談	44	57	4	49	30
合計	437	540	193	649	589

○合同就職面接会(R7年2月20日)

参加事業所数:14社
参加求職者:42名 応募件数:68件
内定数:1件(内定率:1.4%)
採用数:3名(採用率:4.4%)

③川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金

事業者が障がい者雇用への理解を深め、障がい者の雇用機会の拡大及び定着を図ることを目的に、障がい者を試行雇用(トライアル雇用)し、継続雇用する事業主に奨励金を支給した。

(件、円)

		R4	R5	R6
トライアル雇用	交付決定件数	2	1	3
	交付金額	120,000	60,000	180,000
継続雇用	交付決定件数	0	0	1
	交付金額	0	0	240,000

④シューカツトレキャン

若年就労希望者のキャリアイメージを整理した上で、市内企業等での見学・職場体験を行うことで、市内企業で働くイメージを明確化し、働き手の市内企業への定着を支援する。また、本事業をキャリア教育を含めて実施することで、教育も含めた就労支援ネットワークを構築する。加えて、市内および近隣市の若年層の就労希望者に市内企業の魅力をPRし、市内企業と若年就労希望者をマッチングすることで、市内企業の若年層の働き手の確保を支援した。

- 参加者数 15人
- 参加企業者数 6社

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価

<有効性評価指標>

R5年度より向上した	○
R5年度の水準に留まった	
R5年度の水準を下回った	

指標の結果をふまえた自己評価

・若年就労希望者のキャリアイメージを整理した上で、市内企業等での見学・職場体験を行うことで、働き手の市内企業への定着の一歩となった。

・川西しごと・サポートセンターの支援形式を、就労困難者に対する伴走・課題解決型支援に移行していったことにより、キャリアカウンセリング等の相談業務の数値が増加した。

効率性に係る自己評価

・若年者・子育て世代・障がい者などへの就労支援を行う各機関との連携を強化したことにより、若者キャリアサポート川西の相談来所者数や新規求職者数、就職件数が増加した。

・川西市障がい者トライアル雇用奨励金を実施して、3年経過し、利用者が定着しつつある。また、継続雇用奨励金についても支給することができた。

有効性評価指標の向上を含めた事業の課題

・川西しごと・サポートセンターにおいて、コロナ禍を経て、働き方が多様化したことに加え、オンラインサービスの充実等、求職活動環境の変化により、これまでの対面での相談や情報提供等の利用者数が減ることで、就職件数が減少していることが課題である。

・就労を希望する者だけでなく、企業側も採用募集の際に応募者数が少ないことや、求める人材とのマッチングが成立しにくい場合があることが課題である。

R7年度以降に向けた取組みの方向性

・若年者などの就職について、個々にあった働き方を支援し、就労における機会を提供するなどの支援の充実を図るとともに、兵庫労働局及び各就労支援機関とさらなる連携を図り、伴走・課題解決型支援を充実していく。

・川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金においては、障がい者の働き方の支援として、障がい者雇用・就労支援センター『みらくる』等の関係機関と協力しながら、制度の周知を図っていく。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	労働者支援事業	所管部・課	市民環境部 産業振興課	決算書頁	240
分野別目標	にぎわいが生まれる川西の実現				
施策	地域産業	小施策	雇用就労・働く場の創出		
市民とともにめざす未来像	・希望する就労や働き方に関する情報が手軽に得られ、地域で働くことができる				

2. 事業の目的

勤労者及び就労希望者を支援する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R6年度	R5年度	比較	財源		R6年度	R5年度	比較
内訳	総事業費	23,994	33,372	△ 9,378	一般財源		21,644	29,542	△ 7,898
	事業費	7,162	8,652	△ 1,490	国県支出金		2,040	3,340	△ 1,300
	人件費	16,832	24,720	△ 7,888	地方債				
	正・再任用職員				特定財源(その他)		310	490	△ 180
	任期付・会計年度任用職員				特定財源(その他) R6年度の主な種類		諸収入		
(参考)正・再任用職員数(人)		2	3	△ 1					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>		労働者支援事業		細事業事業費(千円)		7,162																																																														
R6年度の取組と成果																																																																				
主な取組	①多様な働き方推進事業(業務委託料)…635千円 ⑤産業保健推進事業(業務委託料)…53千円																																																																			
	②若年者就労体験事業(業務委託料)…4,999千円 ⑥企業人権連絡会議…0千円【予算:人権推進多文化共生課】																																																																			
	③キャリアデザインセミナー(講師謝礼)…100千円 ⑦勤労者住宅資金融資あっせん制度(預託金)…316千円																																																																			
	④キャリアカウンセリング・労働相談(報償費)…672千円																																																																			
有効性評価指標	指標名		単位	R5実績	R6実績	R9目標 (総合計画中間年度)																																																														
	キャリアカウンセリングの相談回数		回	60	104	108																																																														
	企業人権連絡会議におけるセミナー回数		回	2	2	2																																																														
①多様な働き方推進事業 多様な働き方を啓発する動画の作成、いろんな働き方を知り、自分に合った働き方を見つけるセミナー、多様な働き方を実践している先輩から話を聞ける座談会及び悩みを共有する相談会を開催し、それぞれの生活状況やスキルに沿った多様な働き方の実現に向けた支援を行った。 ■動画：公開本数 1本 ■セミナー：開催回数 2回 参加者数 40人 ■座談会：開催回数1回 参加者数 3人 ■相談会：開催回数 2回 参加者数 8人 (実績) 若年者就労体験事業 <table><tr><td>項目</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>体験者数</td><td>15</td><td>19</td><td>14</td><td>7</td><td>5</td></tr><tr><td>就職決定者</td><td>11</td><td>11</td><td>9</td><td>5</td><td>3</td></tr><tr><td>(うち正社員)</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>(うち非正規社員)</td><td>5</td><td>6</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>決定率</td><td>73.3%</td><td>57.9%</td><td>64.3%</td><td>71.4%</td><td>60.0%</td></tr><tr><td>(うち正社員決定率)</td><td>54.5%</td><td>45.5%</td><td>55.6%</td><td>60.0%</td><td>33.3%</td></tr></table> ②若年者就労体験支援事業 市内在住の49歳以下の未就職者を対象に、就労を体験することで、円滑な就職に結びつけるプログラムを提供した。 ③キャリアデザインセミナー 多様な働き方の推進及び再就職支援を目的としたセミナーを、男女共同参画センターと共同開催した。(4回開催、89人参加) また、ハローワーク職業相談部門マザーズコーナーと子育て期の女性等を対象とし再就職をめざすことを目的としたセミナーを共同開催した。 ○キャリアデザインセミナー (参加者数) <table><tr><td colspan="2">セミナー【共催：男女共同参画センター】</td><td></td></tr><tr><td>自分のキャリアのデザインの仕方</td><td></td><td>24</td></tr><tr><td>自分らしく生きる・働く！自己分析セミナー</td><td></td><td>19</td></tr><tr><td>仕事とコミュニケーションスキルの関係</td><td></td><td>24</td></tr><tr><td>事例から学ぼう!!働くときに知っておきたいルールと権利</td><td></td><td>22</td></tr></table> セミナー【マザーズコーナー】 <table><tr><td>子育てと両立！お仕事探しのはじめかた</td><td>6</td></tr><tr><td>久しぶりの方も！初めての方も応援！第一印象で心をつかむ ビジネスメイク&マナー</td><td>11</td></tr></table>								項目	R2	R3	R4	R5	R6	体験者数	15	19	14	7	5	就職決定者	11	11	9	5	3	(うち正社員)	6	5	5	3	1	(うち非正規社員)	5	6	4	2	2	決定率	73.3%	57.9%	64.3%	71.4%	60.0%	(うち正社員決定率)	54.5%	45.5%	55.6%	60.0%	33.3%	セミナー【共催：男女共同参画センター】			自分のキャリアのデザインの仕方		24	自分らしく生きる・働く！自己分析セミナー		19	仕事とコミュニケーションスキルの関係		24	事例から学ぼう!!働くときに知っておきたいルールと権利		22	子育てと両立！お仕事探しのはじめかた	6	久しぶりの方も！初めての方も応援！第一印象で心をつかむ ビジネスメイク&マナー	11
項目	R2	R3	R4	R5	R6																																																															
体験者数	15	19	14	7	5																																																															
就職決定者	11	11	9	5	3																																																															
(うち正社員)	6	5	5	3	1																																																															
(うち非正規社員)	5	6	4	2	2																																																															
決定率	73.3%	57.9%	64.3%	71.4%	60.0%																																																															
(うち正社員決定率)	54.5%	45.5%	55.6%	60.0%	33.3%																																																															
セミナー【共催：男女共同参画センター】																																																																				
自分のキャリアのデザインの仕方		24																																																																		
自分らしく生きる・働く！自己分析セミナー		19																																																																		
仕事とコミュニケーションスキルの関係		24																																																																		
事例から学ぼう!!働くときに知っておきたいルールと権利		22																																																																		
子育てと両立！お仕事探しのはじめかた	6																																																																			
久しぶりの方も！初めての方も応援！第一印象で心をつかむ ビジネスメイク&マナー	11																																																																			

④キャリアカウンセリング、労働相談
専門カウンセラーによるキャリアカウンセリングと
労使間トラブルの解決の場として労働相談を実施した。

(実績) キャリアカウンセリング・労働相談の利用者数

項目	R2	R3	R4	R5	R6
キャリアカウンセリング	81(96)	50(55)	27(32)	51(60)	69(104)
労働相談	30(31)	20(21)	25(26)	19(19)	19(19)

※ () 内は延べ相談回数

⑤産業保健推進事業

法定健康診断の機会の確保及び事業者が行う労働者の健康管理等を補助することにより、従業員50人未満の市内事業所における労働者の安全と健康を確保し、快適な作業環境の形成促進を図った。
川西市中小企業勤労者福祉サービスセンターが令和4年度末で廃止したことを受け、同サービスセンター事業として実施していた健康診断の受け皿としても機能した。

受診者数 207名(27事業所)

⑥川西市企業人権連絡会議

企業の人権啓発を推進する団体として存続し、市が実施する講演会のテーマや講師の決定等について助言・要望を行い、市と企業が協力し、人権啓発に取り組んでいる。

○企業人権連絡会議

(参加者数)

講演会	
職場におけるアンコンシャスバイアス 「無意識の思い込み」に気付き、職場のコミュニケーション力を高めよう	23
「ビジネスと人権」時代に選ばれる企業、選ばれる地方自治体とは ～人権デューデリジェンスのすすめ～	16

⑦勤労者住宅資金融資あっせん制度

昭和53年に勤労者の持家促進を支援するための住宅融資をあっせん制度として発足し、平成15年に新規貸付を終了した。現在は返済及び残高に応じた預託のみを行っている。

○勤労者住宅融資あっせん制度貸与残高

(単位：円)

貸付年度	件数	R5年度末残高	件数	R6年度末残高
H12	2	1,577,869	2	561,619

※取扱い金融機関に対して、R5年度末の貸付残高の5分の1の額である316千円の預託を実施

5. 担当部長によるR6年度事業成果の自己評価及び今後の方向性

有効性に係る自己評価

<有効性評価指標>

R5年度より向上した	○
R5年度の水準に留まった	
R5年度の水準を下回った	

指標の結果をふまえた自己評価

・キャリアカウンセリングは、チラシの刷新、他の支援機関との連携の強化により利用者数、延べ相談回数ともに増加している。

・多様な働き方を啓発する動画やセミナー、相談会に加え、今年度も座談会も開催し、個々の生活状況やスキルに合わせた働き方の実現に向けた啓発を実施することができた。

効率性に係る自己評価

・若年者就労体験では、生活状況の中で、複合的な課題を抱えながらの若年者が増えてきており、体験者数、就職決定者、決定率のいずれも、R5年度より減少している。

有効性評価指標の向上を含めた事業の課題

・就労者や労働者が抱える課題に寄り添い、抱える課題に応じた働き方を支援するため、短時間就労等、就労におけるスモールステップなどの支援の提供を行うための仕組みを構築していくことが課題である。

・若年者就労体験事業では、長期的で手厚い支援が必要な若者の就職につながるよう手法の見直しなどを行いながら実施してきたが、就職決定者数の割合が年々減少していることが課題である。

R7年度以降に向けた取組みの方向性

・働き方がより多様化した状況を踏まえ、就職困難者の支援を強化していくため、キャリアカウンセリングなどの相談業務の充実を図るとともに、若年者就労体験支援において現状より効果的な事業手法を検討するなど、より手厚い支援を展開していく。

・生活状況やスキルのレベルに応じた多様な働き方を提案し、個々にあった働き方を支援するとともに、関係機関と連携して、就労希望者を支援していく。

